



ききょう

第 4 号



校長室の風景

1学期が終わろうとしている今、今学期を少し振り返りたいと思います。3中学校の代表生徒のあいさつから、新しい茂木中学校がスタートしました。私たち教職員は、生徒たちが「明るく元気に登校できるか」「友だち同士の交流を深めることができるか」「部活動は仲良く行えるか」など、正直、不安を抱えての船出でありました。しかしながら、私たちの不安を払拭するかのよう、生徒たちは明るく元気に生活しています。春季大会では多くの部活動が素晴らしい成績を収め、茂木中学校の活躍が話題ともなりました。このように、生徒たちの明るく前向きな生活や部活動での活躍は、生徒たちが自らの手で新しい茂木中学校を創っていかうとする気持ちの表れだと思います。



【真岡市陸上競技場にて】

私は統合にあたり、「学び合い」について生徒に話をしました。相手の立場を尊重し、良さを認めながら学び合うということ。お互いがお互いを認めながら学ぶことを通して、高め合ってほしいという願いからです。生徒の様子を見ると、何気ない日常生活の中にも「学び合い」を実践し、茂木中生として一つになろうとしている姿が見られます。その姿に、本校生の素晴らしさを感じています。今年度は、統合初年度でもありますので、生徒の様子については、今後とも注意深く見ていきたいと思えます。手前みそになりますが、本校職員は生徒たちのよりよい学校生活を第一に考え、熱心に対応しています。お子様の成長には、家庭と学校が連携を図ることが何より大切です。気になることがありましたら、遠慮せずに職員へご相談ください。

保護者の皆様には、新たな環境におけるご不安やご負担をおかけしております。そのような中、ご理解やご支援をいただき感謝申し上げます。生徒たちのよりよい教育環境づくりのため、今後ともご協力いただければ幸いです。

☆ 保護者会開催 有意義な夏休みのために！

お忙しい中、多くの保護者の皆様にご出席いただきました。授業参観と学年懇談を中心に、地区によっては資源回収の話し合いも行いました。学年懇談では、1学期の生活や学習の様子について話をしました。また、有意義な夏休みを送るために、夏休みの生活についての話もしました。

夏休みは、自律する力を付ける絶好の機会です。自分の生活を自分でコントロールする力を身に付けさせたいと考えています。



授業参観の様子



学年懇談の様子

☆ 郡市総合体育大会陸上大会

ご協力ありがとうございました！

7月11日（火）郡市総合体育大会陸上大会を実施しました。非常に暑い日でしたが、生徒たちはその暑さに負けず、頑張る姿を随所に見せてくれました。早朝の練習ということで、朝の送り等保護者の皆様には大変お世話になりました。

上位入賞者は次のとおりです。（敬称略）

3年男子 110MH	第3位	中里玲大（3-3）
3年女子 400m リレー	第3位	田谷楓恋、糸井歩夢、小崎未来、小林和香
1年男子 400m リレー	第2位	御子貝榛、神山天虎、浦井優人、小堀龍杜
1年女子 走高跳	第3位	大塚 瞳（1-2）

☆ 竜巻訓練・薬物乱用防止教室の実施

—自分の命は自分で守る—

6月30日（金）竜巻訓練を行いました。気象の急変に伴う避難訓練として実施しました。最近、気象の急変による災害も増えており、このような訓練を通して、自然災害へ目を向けるきっかけになればと考えています。また、7月5日

（水）には薬物乱用防止啓発のための劇を鑑賞しました。ネット社会の今日、薬物が身近なものになりつつあります。いずれにしましても、「自分の命は自分で守る」という意識を高めていきたいと思えます。



竜巻訓練の様子



薬物乱用防止の啓発劇

☆ 芳賀地区PTA活動を考える研修会

—子どもと大人の信頼を築くために—

7月8日（土）に芳賀地区PTAを考える研修会が芳賀町民会館で開催されました。上記の演題で、講演会が行われました。子どもとの信頼関係を築くための聴き方やほめ方、叱り方について話を聞きましたので、参考までに紹介します。

〈聴き方〉

「子どもの気持ちを受け止める」ことが聴き方と基本。具体的には、「子どもがサッカーは向いていないから、もう辞めたい」と言ってきたとき、「どうして」「なぜ」と問い詰めるような聴き方は、よくないようです。「サッカー向いていないから、辞めたいと思っているんだね」などと、子どもの気持ちを、先ずはしっかりと受け止めることが大切であるということです。

〈ほめ方〉

「事実＋私メッセージ」がほめ方の基本。小泉元総理大臣が大相撲の優勝力士に「けがに耐え、よく頑張った。感動した。」この言葉かけが、ほめ方の極意。つまり、**事実**（けがに耐え、よく頑張った。）に、**私メッセージ**（感動した。）を言うことが重要のようです。

〈叱り方〉

「**事実**→**感情**→**要望**→**価値**」が叱り方の基本。具体的には、同じ間違いを繰り返している場合、**事実**（先週と同じところを間違えたね。）、**感情**（同じ間違いをして残念だよ。）、**要望**（同じ間違いをしないようになってくれないかな。）、**価値**（そうすると間違いはなくなるよ。）などと話をすることです。つまり、本人が気づき、意識できる叱り方が大切のようです。